

「Scene北海道特別企画」 北の魅力発信人

「フォトグラフィアーシーン」

「Scene北海道」の誌面を彩る魅力や想いを撮った写真の数々。いつも素晴らしい作品を届けてくださる投稿者様の「想い」や「こだわり」をご紹介します。

佐々木 亮子（豊富町）

「私と写真」

枝幸町歌登で生まれ、豊かな自然の中で遊び、クラシックや映画音楽等を沢山聴いて育ちました。大学時代は映画鑑賞、現在は撮影の他に、絵画・写真鑑賞と執筆が趣味です。

高校時代から絵画のポストカードを集めていましたが、大学時代は、マン・レイなどの海外写真家のポストカードに魅了されていました。好きな画家と写真家は数え切れません。

大学の研修旅行や新婚旅行で訪れたヨーロッパで、沢山のスナップ写真を撮りました。面白い被写体や自分が一番と思う構図を見つけたことが非常に楽しかったです。フィルムカメラでシャッターを切る瞬間は、私にとって魔法のような特別な瞬間でした。

昨年Scene北海道と出会い、「NEXCO 東日本 北海道の四季フォトコンテスト」や「北海道遺産フォトコンテスト」を知りました。幸運にも入選することが出来、とても励みになりました。岸本日出雄先生による講習会も大変勉強になり、貴重な機会を与えられたことに感謝しています。今年に入ってから風景撮影に関する教本を読



「包まれる刻」(豊富町 7月) / イギリス湖水地方を思わせるような田園風景に癒されました。



「夏休みの思い出」(稚内市 8月)
久しぶりの海と大自然に子ども達も大喜びでした。



「雪原と太陽」(豊富町 3月) / 雄大な平原と空は豊富町の魅力の一つです。



「沈みゆく太陽」(豊富町 7月) / 羽衣のような雲が現れ、夢のようでした。



「海月の朝」(豊富町 2月) / 前日に撮り損ねたスーパームーンを地元でリトライした作品です。思いもよらず、海面に月と微かに利尻富士が写り、とても感動しました。



「河口の夕え」(稚内市 3月) / 段々と満ちてくる海の音を聞きながら夢中で撮りました。



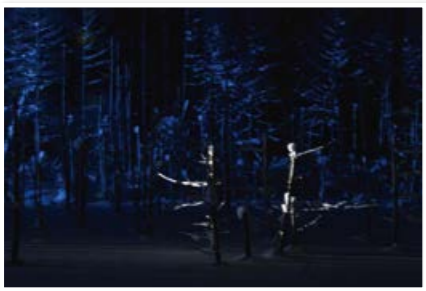
「穏やかな朝」(豊富町 7月) / 豊富町に長年住んでいますが、近所の風景の美しさに気付いたのは昨年のことです。



「1970～閉山の時」(羽幌町 8月) / 炭鉱アパートの廃墟ですが、私を惹きつけたのは外国のような風情です。



「シンフォニー」(幌延町 7月) / 私にとって、自然と音楽は一体のものです。



「プロローグ」(美瑛町 1月) / 偶然のふれが私の心に響いた風景。舞台の始まりをイメージしました。

＜魅力発信人＞一問一答＜

- Q** 写真、カメラとの出会い、また始めたきっかけ、カメラ歴は？
A 高校生の時、通学路の橋から見える冬の夕景に感動し、安物のカメラで、風景に恋するようになりシャッターを切っていたことが出発点かもしれません。数年前にデジカメハイエンド機を購入し、一眼レフ入門機を手にしたのが3年前前、現在はフルサイズ中級機を愛用しています。
- Q** カメラをやっていて良かった事。一番感動した事は？
A 良かったことは、人生の良き先輩達に出会えたこと、多くの素晴らしい写真家の方々とその作品に出会えたことです。四季折々の美しい大自然に日々感動しています。
- Q** 得意な被写体は？また、撮影でのワンポイントがあれば教えてください。
A 風景です。ポイントは歩くこと、見つけること、粘ることです。
- Q** 撮影時にいつも心掛けている、又は気を付けている事は？
A 昨年2回の花火大会撮影で体を冷やし、2ヶ月も風邪をひきました。それからは、健康第一に、撮影時にはカイロや防寒服で体を冷やさないように心がけています。
- Q** あなたにとって写真を観る時のポイントは？
A 今までは感性で見えていたのですが、最近写真撮影に関する本を読むようになってからは、作品に隠された工夫や作品のテーマに目がいくようになってきました。
- Q** あなたにとって、カメラや写真の魅力とは？
A 風景と一体化し、無の感覚になれる一瞬がたまに訪れることです。
- Q** あなたにとって、カメラまたは写真とは？
A カメラは感動体験を生み出す宝箱です。
- Q** Scene 北海道の読者の皆様へメッセージをお願いします。
A まだまだ未熟者ですが、撮影の基礎をしっかり学び、練習に励み、読者の皆さんに感動の一枚を届けられるように精進いたします。Scene 北海道WEB Museum個人ギャラリーの「最北の四季」も楽しんで頂ければ幸いです。